

【調査概要】

- 調査実施期間: 令和6年2月19日(月)～3月29日(金)
- 調査委託先: 一般社団法人 医療コンテナ推進協議会
- 調査目的: 今後起こりうる大規模自然災害に備え今回の派遣対応を振り返り、より円滑なオペレーションを実施するための基礎資料を収集する。

【時系列の整理】

- 関係資料を整理し、オペレーションの実施・調整状況についての時系列を取りまとめ。

【現地調査】

- 医療コンテナを派遣した場所11か所及び派遣を検討した場所3か所の計14か所において、稼働状況等の調査を実施。

(調査項目)

- ・ 設置の選定・調整の経緯
- ・ 設置場所の状況(インフラ、医療体制、避難者のニーズなど)
- ・ 医療コンテナの運用状況(稼働実績、燃料補給の頻度など)



医療コンテナ設置等の位置

【ヒアリング調査】

- オペレーション関係者計63名へヒアリングを実施。
 - ・保有機関の担当者11名
 - ・県・市町村等の行政担当者16名
 - ・取扱企業の担当者8名
 - ・活用した医療従事者13名
 - ・設置場所の管理者13名
 - ・その他2名

○ヒアリングでお伺いした主な声

- ・ コンテナが来るまでは保健室の廊下で診療していたが、**プライバシーを確保した診療行為ができた。**



ヒアリングの様子



コンテナ内での診察の様子
(1/26正午前テレビ朝日)

出典: ANNテレビ朝日HP

今後、調査結果を踏まえ、厚生労働省と国土強靱化推進室で分析を実施。次の災害に備えて改善を図る。